

ハ實際戰意ト云フモノニ甚ダシク影響スルモノダ、私モサウ考ヘテ居リマス、隨て斯様ナ劣勢感、不安感ハ取除ニ一ツノ困難ナ事情ガアリマス、ソレハ科學力ト申シテモ平時の平和的ナル科學力ヲ意味シナイデ、今日ハ戰爭目的ノ科學力デアリマス所カラ、之ヲ總テ明カニ示スコトガ許サレナイ事情ニアルノスルヤウナ劣勢感ト云フモノヲ極力取除キタイトハ思ヒマスルガ、私共ガ承ナ言ヒ方ト云フコトニ相成リマシテ、國民ノ不安ノ感、或ハ戰意ニマデ影響シ得ナイト云フ事情ニアリマスコトニ、其ノ科學力ノ動員ト云フ實情ヲ明かニ示スナラバ、極メテ明暞ニナルモノト思ヒマスルガ、遺憾ナガラソレガナデ是亦已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス、ソコデ御尋ネノ所ニ入リマスガ、我ガ科學力ヲ即刻全部發揮スベキデハナイカト云フ御考ヘハ至極御尤モデアリマシテ全く同感デゴザイマス、唯豫算總會デ聊カ申シマシタガ、科學力ノ動員ト云フコトニハ困難ガアル、本質的ナ困難ガアル、ソレハ人ノ頭ヲ動員スルコトデアル爲ニ、物資ヲ動員スルトカ、或ハ筋肉勞務ヲ動員スルト云フ程度ノ簡單サヲ以テハ出來ナイ、頭腦ノ動員デアルカテ、其ノ人人、各個人ノ氣分、心持ト云フヤウナモノモ動力シテ掛カラナケレバナラナイ、ソコニ人間デアルカラ感情ノ問題ガ入ツテ來ル

ト云ツタヤウナコトヲ説明致シタノデ
アリマス、是ハ速記録ヲ御覽下サレバ
載ツテ居ルコト思フノデアリマス、
動員ノ對象ト致シマシテ頭腦ノ力デア
ル場合、科學力デアル場合ハ時間ヲ要
スルノデアリマス、是ガ其ノ本質デアリマス、
リマシテ、出來ルダケ短イ時間ニ總力ア
ラ動員スルト云フコトハ容易ナラヌ
デアリマス、ソユコデ第一次トカ第二次
トカ申シマスマヤウニ、甚ダ緩漫ニ過ギ
ルト云フ感ジガ致スノハ已ムヲ得ナイイ
所デアリマス、其ノ第一次ト申シマシ
タ動員ヲ詳シク述ヘルコト如何カト
思ヒマスガ、技術院ニ於テ取扱ツテ居
リマスル戰時研究員ト云フモノノ課題
ハ二百件ニ及シ居ルノデアリマス、
其ノ戰時研究一件ニ關係シテ居ル科學
者ノ數ハ相當數デアリマシテ、總員現
在六千名超エテ居ルト承知致シテ居
リマス、此ノ六千名ヲ超エテ居ル人達
ハ戰時研究——其ノ課題内容ハ公ニス
ルコトが出來ナインデアリマシテ、又
其ノ進捗状況モ公ニ致シ兼ネルモノデ
アリマスルガ、其ノ研究ニ動員サレテ
居リマス、其ノ他ニ戰時研究ノ動員ニ應
ズベク準備ヲシテ居ル形ニ於テ研究動
員ガ行ハレテ居リマス、ソレハ學術研
究會議、數百名ノ會員ヲ持ツテ居リマ
ス、大日本航空技術協會、日本學術振
興會ト云フヤウナ、其ノ他ニモアリマス
ルガ、其ノヤウナ各團體ニ戰時研究員
スル研究ヲ致シテ居リマス、其ノ中力
ラ短期急速ニ戰力化シ得ベキモノヲ取
上げテ、只今申上ゲマンシタ戰時研究員
ヲ命ジテ研究シテ貰ツテ居ル譯デアリ
マス、隨テ考ヘ様ニ依ツテハ我が國ノ
科學動員ハ既ニ相當程度ニ行ハレテ居
ルト言フ人達ガ多イノデアリマス、併
シ私ハマダ餘力アリ、總動員ニナツテ

居ラナイト云フ説ヲ持ツテ居ルノデア
リマシテ、然ラバ之ヲ總動員スル手段
アリヤト云フ所ニ私今日ノ任務ガ掛ツ
テ參リマシテ、種々立案シ工作致シテ
居ルノデアリマスガ、唯林委員ノ御話ノ
ヤウニ緩漫ノ感ヲ免レマセヌ、併シナ
ガラ世ノ中ニハ即刻ト云フコトノ出來
ナイコトガ色々アルノデアリマス、此
ノコトハ私自身ヨリモ皆サソノ方ガ能
ク御承知ト思フノデアリマス、例ヘテ
申セバ、此ノ事態ニ於テ國內ニ強力政
治ヲ行フベント云フ御意見ガアツタト
致シマシテモ、ソレガ明日カラ直グ、
或ル形デ實現スルカ、ソレニハ時間ヲ
要スルデアリマセウ、各人ノ頭ノ切替
デアルカ、或ハ協議デアルカ何カラ要
スルデアリマセウ、其ノヤウニ世ノ中
ニハ即刻出來ナイコトガアルノデアリ
マス、科學者ノ能力ハ之ヲ總動員スル
ナラバ敵ニ劣ラナイト申シテモ、之ヲ
總動員スルト云フ仕事ニハ色々ト關聯
スル事情ガアルノデアリマス、ソレヲ
切開イテ十分ニ戰力化スル爲ニ折角努
力中デアル譯デゴザイマス
○林(信)委員 御答辯ニ依リマシテ日
本ノ技術陣各位ガ戰時ノ技術動員ニ對
處セラレマシテ、又多數ノ各位ガ非常
ニ熱意ト云フモノガ持續セラレナケレ
バナラスト思フノデアリマシテ、其ノ
コトヲ承知致シタノデアリマス、力強
イ限リダト考ヘマスルガ、常ニ物事ハ其
ノ熱意ト云フモノガ持續セラレナケレ
バナラスト思フノデアリマシテ、其ノ
御所信ニ依ツテ知ラレマスル御熱意
ヲ、更ニ一段ト御昂揚下サラシユトヲ
重ネテ御要望申上ゲテ置クノデアリマ
ス、適當ナ言葉デナイカモ知リマセヌ
ガ、ツイ先達デ「ドイツ」ノ戰局ガ少シ
ク惡クナリマシタ場合ニ、彼ノ國ノ勞

得ルカモ分ラナイガ、九千萬ノ國民ハ
斷ジテ乘越エ得ナ、斯ウ力強ク叫ン
デ居ル、救國ノ叫ビダト思フ、是モ其
ノ意氣ニ於テ壯トスルノデアリマスル
ガ、之ヲ直チニ第一線ノ戰闘狀態ニ付
テ考ヘマスナラバ、今日ノ戰争ハ繰返
ヘスマデモナク、單ナル國民的ナ意氣
ダケデハイカヌノデアリマス、臂力ヤ
腕力デハ解決ガ付カヌノデアリマス、
茲ニ大キナ科學戰ノ意義ガアルノデア
リマスガ、日本ニ於キマシテモ、ト
ナツタラ竹槍ラシゴイテ行クノダ、竹
槍ヲ何十萬本何百萬本作リマシテモ、
機關銃ニ依ツテ掃射シ、火薬放射器ニ
依ツテ猛進シテ參リマス彈面ニハ中
立向ヘルモノデハナイ、飽クマデ其
ノ國民ノ持チマスル魂ノ戰鬪力ト共
ニ、科學力ノ持チマスル魂ガ之ニ焰ト
ナツテ一體化サレナケレバ、斷ジテ此
ノ戰ヒハ勝チ遂ゲ得ナイノデアリマ
ス、此ノ意味ニ於キマシテ現段階ヲ理
窟抜キニシマシテ、此ノ際ニ於テハ我
ガ國ノ科學陣ト云フモノハ敵ハ一島嶼
ヤ一戰線ハ乘越エ得ルカモ分ラナイ
ガ、我ガ大日本ノ技術陣ハ斷ジテ乘越
エ得ナイ、此ノ確信ヲ持ツテ居ラル、
コトヲ信ズルノデアリマシテ、御答辯
ノ御言葉ニモ烈々ソレヲ感ズルノデア
リマス、此ノ心持ガ延イテ國民ノ間ニ
浸透致シマシタ時ニ、私ハ眞ニ物心一
體トナリマシテ、茲ニ偉大ナル戰局ガ
生レテ來ルト考ヘル者デアリマシテ、
ドウカ現御所信ニ更ニ御熟意ヲ賜ハ
リ、特續セラレテ、慙勝手抜ク爲ノ
大キナル力ニナツテ參リマスルヤウ、
一段ノ御敢闘ノ程ヲ切ニ御願ヒ申スノ
デアリマス

アリマスルガ、一向存ジマセヌシ
國民ノ間ニ危惧ノ念ガアルノデ伺ヒタイ
ノデアリマスガ、是等ノ御言葉ニアリ
マシタ戰時研究員ト云フ言葉ニナツテ
居リマスガ、大體左様ナ面ニ御活躍セ
ラレマスル各位、直接事務デオヤリニ
ナツテ居ル各位モ多イノデアリマセウ
ガ、サウデナク大學等ノ本務ヲ持タレ
マシテ、餘暇ニオヤリニナツテ居ル方モ
アラウト思フ、或ハ左様ナ方ガ自分一
個デ參リマセヌノデ、可ナリ分擔的ナ
技術陣ヲ御作リニナツテ、助手等ヲ御
使ヒニナツテ居ルノデアラウト思フノ
デアリマスガ、此ノ助手、或ハ助手デ
ナクテ之ヲ御使ヒニナル御責任者ニ於
キマシテモ同様デアルカモ分リマセヌ
ガ、殊ニ助手ノ俸給等ニ於キマシテ
ハ、ソレガ七十圓デアツタリ、或ハ百
圓止リデアルト云ツタヤウナ、極メテ
薄イ俸給、其ノ他手當關係モドウナツ
テ居ルカ知リマセヌガ、少クトモ俸給
ノ面ニ於テ薄イヤウニ承知致スノデア
リマス、或ハ是等ノ諸君ハ、左様ナ物
質ヲ相手ニスルノデハナクテ、恵マレ
マシテ、家庭ニ於テモ左様ナ生活費ノ
關係ニ於テ、是等ノ表ヨリ受ケル俸給
ノミニイカモ知レマセヌガ、併シソレハ
ソチラノ方ノ御都合アリマシテ、國
家ガ是等ノ人ニ酬イマスル態度デハナ
イト思ヒマス、國家ハ飽クマデ其ノ人
ノ地位ナリ、活動ナリ、其ノ成果ヲ期
待致ス面カラ行キマシテモ、十分ニ之
ニ酬イル所ガアツチ宜シイト思フノデ
アリマス、其ノ科學陣ノ熱意ニ關聯致
シマスル問題ニ付キマシテ、此ノ點ガ
一ツ伺ヘルナラバ伺ヒタイト思ヒマス

ト激励ヲ賜ハリマシタコトヲ感謝致シ
マス、敵ノ科學陣ハ我ガ科學陣營ヲ乘
越エ得ナイト云フ覺悟ヲ以テ進メト云
フ御言葉モ有難ク拜承致シマシタ、實
ハ國民一般ガ只今御話ニナリマシタヤ
ウナコトヲ十分理解サレルコトヲ希望
致シテ居リマシタノデ、此ノ席ニ於テ
林委員ガ其ノコトヲハツキリト御述べ
下サイマシタコトヲ、科學界ノ一人ト
致シマシテ洵ニ欣ビニ堪ヘナイ所デゴ
ザイマス

次ニ戰時研究員ト申スモノノ制度ガ
一昨年出來マシテ、其ノ制度ヲ表ハシ
タ原案ニ於キマシテハ、戰時研究員ハ
一切ノ餘事ヲ放擲シテ戰時研究ニ從事
スペシ、是ハ科學者ノ徵用デアリ、動
員デアルト云フコトガ、原案デハ書表
ハサレタノデアリマシタガ、餘リニ嚴
格ニ一切ノ餘事ヲ放擲シテト云フコト
デハ、又困難ナ事情ガ起ル、其ノ人人ノ
能力其ノ他ノ事情ニ依ツテハ、一切ノ
餘事ヲ放擲スルハ、餘リニ言ヒ方ガ強
過ギルト云フノデ、是ハ削除サレタノ
デアリマス、併シサウ云フ精神デ行ハ
レテ居リマシテ、戰時研究員ト云フ辭
令ヲ内閣カラ貰ツテ居ル人達ハ、建前
ハ大體餘事ヲ放擲シテト云フコトニ相
成ツテ居リマス、ソレカラ其ノ人ノ仕
事ヲ擔當スル研究補助員ト云フ者ノ待
遇問題デアリマス、御話ノ通り平時ニ
於キマシテハ自己ノ學問的修養ノ機會
ヲ與ヘラレルト云フコトヲ、何ヨリノ
酬イト思ツテ、欣ンデ無給デ宜イカラ
ト云フ希望者ガ相當多カツタ爲ニ、待
遇ハ漸次年ト共ニ下ツテ參ツタノデア
リマス、現在ニ於キマシテモ助手級ノ
者ノ待遇ハ可ナリ薄イノデアリマスル
ガ、此ノ件ハ一般下級官吏ノ待遇トノ

釣合ノ問題ガゴザイマシテ、官立ノ大學、研究所、専門學校等ニ居ル者ハ、ヤハリ下級官吏ニ准シテ居ル事情ガゴザイマス、此ノ度政府ニ於カレマシテハ、下級官吏ノ待遇ト云フコトヲ全般ニ考ヘテ施策サレルコトニ相成ツテ居リマス、之ニ連レテ幾分合理化スルモノト考ヘテ居リマスルガ、併シ隨分夜業ヲ致シマシタリ、休ミト云フモノモナク勵イテ居ル者ノ生活問題、特ニ食糧問題ガアリマシテ、研究助手達ニ對スル食糧ノ手當ト云フヤウナコトモ、各方面ノ御理解ニ依シテ最近著々適當ナ方途ガ執ラレルヤウニ相成リマシタコトヲ、此ノ機會ニ申上げテ置キマス○林(信)委員　只今御尋ネノ趣旨ニ付キマシテモ、重ネテ御意見ヲ聽キマシテ、御要望申上げタイ點モアリマスガ、時間ノ關係等モアリマスシ、高岡氏モ御出席ガアルヤニ見マスノデ、此ノ程度ニシテ置キマスガ、前提致シマシタヤウニ豫算總會ニ於キマスル技術院總裁ノ御發言ニ對シマシテ、御伺ヒシタイト申上ゲマシタ第二點ト致シマシテ、ヤハリ船田氏ノ質疑アリマシタガ、我ガ國ノ航空機生産關係ニ於テ、飛べナイ飛行機ガアツタ、大體同君トシテハ飛ベナイ飛行機ト云フ言葉デ質疑ヲシテ居ツダカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ總裁ノ御懇篤ナ御答辯ガアリマシタ、例ニ「アメリカ」ノ生産陣ヲ引キマシテ、其ノ三〇%程度ノモノハ飛ベナイト云フ常識的ナ我々ノ見解ニナツテ居ル、斯ウ言ハレタ、此ノコトガ只今申シマシタヤウナ日本ノ科學陣ニ對シマスル國民ノ信賴感ノ厚薄ト言ヒマスカ、或ハ其ノ中ノ誤レル見解ヲスル者ノ間ニ於キマシテハ、「アメリカ」ガ三〇%程度デアレバ、日本

ハ少クトモ同程度、或ハ低イノデハナツ者モナイデハナカラウカト思フノアリマス、尤モ此ノ點ニ付キマシテハビス」班等ヲ設ケテ、銳意之ニ力ヲ致ナイカト思ハレルガ、日本ニ於テモ非常ナ力ヲ致シテ居ルト云ツタヤウナ、敷衍のナ御説明ガアリマシテ、概要ハフルノデアリマスケレドモ、何トナクソコニ航空機生産ノ實際ニ於キマシテ、マダ可ナリニ弱體ナ感ヲ受ケタノデアリマシテ、此ノ事ハ私一人デハナカツタノデハナイカト思ヒマス、船田君ノ總裁ニ對スル御質疑ハ餘り深ク入ツテハ居ラナイノデスガ、尙ホ憾ミヲ残シマシテ分科會ニ於キマシテ遠藤航空兵器總局長宛ニ重ネテ其ノ點ノ意見ヲ叩イテ居ルヤウデアリマス、サウシマスト遠藤長官ハ其ノ言葉ニ於キマシテ、又其ノ趣旨ニ於キマシテ、決シテ言ハレルヤウナ飛ベナイ飛行機トカ、殺人飛行機ト云ヤウナモノハナイ、製作サレタ飛行機ハ必ず陸海軍ノ監督官ニ於テ飛行試験ヲサレ、飛シダ飛行機ガ陸海軍ニ納マル、斯ウ言ツテ居ルノデアリマシテ、先ツ出來上リマシタト云フコトデ、軍ニ納マルノデアリマスカラ、出來上リマシタ飛行機ハ飛ベナイテ居リマセヌガ、其ノ比率等ハ之ヲ述ベ居ラナイノデアリマシテ、斯ウシテ

陸海軍ノ監督官ガ試験ヲシテ、試験飛行ノ上デ受取ルノダ、斯ウ云フコトニ相成リマスルナラバ、陸海軍ノ監督ガ嚴格ナモノデアリマスルナラバ、其ノ後ニ起ル飛行機ノ故障ト云フモノハ、假リニアリト致シマシテモソレハ繪裁御述ベニナリマスヤウナ、三〇〇%程度ガ完全ナ中ノ完全ノ程度ノモノナデスクテ、今少シク多イ數ニ上ルノデハナカト思フノデアリマシテ、遠藤長官ノ言ハ其ノ點ノ數字等ニハ觸レテ居リマヌガ、結論ニ於テハ非常ニ強イ言葉用ヒマシテ、殺人機ヲ捲ヘルト云フヤウナ言辭ヲ弄スルガ如キコトハ、國民一致協力ヲ阻碍シ、又第一線ノ軍隊カラ出タト云フヤウナコトヲ言フコトハ軍民ヲ離間セシムルモノデアル、製作シテ居ル連中ハ、ドウ云フ原因デ毀レルカト云フコトヲ能ク知ツテ居ル、軍民離間ノ原因ニナルノデ、斯クノ如キハ敵ノ謀略ニ引ツ掛ツテ居ルモノデアル、斯ウ云フコトハ決シテナイヤウニ、サウ云フ言葉ノ起ラヌヤウニ、指導ノ地位ニアル皆様ハ能ク誤解ヲ解クヤウニシテ戴キタイト存ズル、サウ云フコトヲ強ヒテ言フ者ガアルトシタナラバ、航空機生産ニ直接從事シテ居ル數百萬ノ從業員ノ諸君ノ爲ニ、寧ロ私ハ憤慨ヲ感ズルモノデアル、斯ウ云フ力强大イ言辭ヲ用ヒテ之ヲ述べテ居ルノデアリマス、サウ致シマスト私ハ前述ヘマスヤウニ、總裁ノ其ノ後ノ説明ニ依ツテ可成リフル思フノデスガ、世間ノ間ニハ何トナク——斯ウ申上ダレ失禮デスガ、アノ言葉ダケデハ何トナク日本ノ航空生産陣ト云フモノハ米英ニ劣リ、弱體ノモノデアル、數字ノ上等ニ於キマシテ、左様ニ日本ガ同様ダト云フヤウナ感ハ別ニ致シマシテ、其ノ質ニ

○古田委員長 林君、少し簡単ニ御願
ヒシマス
○林(信)委員 此ノ點ノ相違ノ間隔
ヲ、總裁ノ此ノ際ノ御説明ニ依ツテ拜
承シ得ルナラバ極メテ結構ナコトデ
ナイカト思ヒマスノデ、其ノ點ヲ伺ヒ
マス

○八木本政府委員 速記録ヲ篤ト御願下
サレバ相當明瞭ニナルカト考ヘマスガ、
私ノ申上ゲマシタコトト遠藤長官ノ御
話トハ、新聞紙ニ見タ所何等喰違ヒハ
ナイト考ヘテ居リマス、時間ヲ取ツテ
恐れ入リマスカラ成ベク簡単ニト思ヒ
マスガ、豫算總會デ申シタコト一寸
繰返シマス、飛ベナイ飛行機ト云フ御
質問ガアリマシタノニ對シテ、私ハ「ア
メリカ」ノ發表シタ所デハ、「アメリカ」
デハ戰ヘルモノハ三〇%ト言ツテ居ル、
飛ベルモノトハ申サナイ、戰場ニ於
テ戦ヒ得ルモノガ三〇%、今百機出來
タトスレバ百機ノ編隊デ戰ヘナイ、戰
ヘルノハ多分三〇%デアルト云フノガ
敵側ノ數字デアリマス、サウシテ七〇
%ハ飛ベナイノデハアリマセヌト私ハ
申シタ、飛行機ト云フモノハ敵障ノ起
リ易イモノデアル戰艦トカ、戰事トカ
機關車トカ云フヤウナガツチリシタモ
ノデナイ、空ヲ飛ブ爲ニ、アノ子供ガ
揚ケマス凧ノヤウナ種類ノ構造ノモノ
デアリマスカラ壞レ易イ、車ガ一寸曲
ツテモ、翼ガ一寸曲ツテモ、著陸スル
際ニ何カニ當ツテ曲ツテモ直グ飛ベナ
シガ、遠藤長官モ説明サレタ如ク、屢々
發動機ヲ解體シテ掃除ヲシ手入レラシ
ナケレバイケナイ、其ノ爲ニ整備兵トナ
ケレバナラヌ、其ノ爲ニ戰ヘナイ狀

態ニアル時間が相當多イノデアル、殊ニ補給路ガ長イト、「アメリカ」ノ數字ハ「アメリカ」大陸横斷ノ汽車ニ於テ、ソレカラ輸送ノ船ニ於テ、又出先ノ飛行場ニ著陸スル時ニ於テ色々故障ガ起ル、尙ホ同種ノ機種ガ國內ニ於テ練習用トシテ、試験用トシテモ使ハルカラ、敵ト戦ヘルモノハ三〇%程度ニナ、アルト云フ數字ヲ發表シテ居ルノデアリ、アルト闘イタ人ノ印象ト、其ノヤウナ豫備知識ヲ持ツテ居ル我々ガ飛ベナイマス、私ガ申シタノハサウ云フ専門的ノコトヲ知ラズニ、飛ベナイ飛行機ガアルト闘イタ人ノ印象ト、其ノコトハ記録ノ方ニハ詳シク出テ居ルト考ヘトハ、自ラ達フモノデアリマスト云フコトヲ申シタノデアリマス、其ノコトハマスガ、遠藤長官ノ御話トハ何等矛盾致シマセヌ。

○林(信)委員 委員長ノ御話モアリマ

シタノデ、爾後ノ質問二項ヲ項目ダケ述

ベマシテ時間ヲ節約致シマスルガ、御

説明ハ必要アルモノデアリマスレバ時

間ニ關係ナク詳細ニ伺ヒタイト思ヒマ

ス、一點ハ戦爭技術ノ學國體制確立ト

申シマスカ、サウ云フ問題デアリマス、

此ノ言葉デ盡キテ居リマス、先頃御發

表ニナリマシタ、名前ハ間違ツテ居ル

カモ知レマセヌガ、考案課ト云フノガ

技術院ノ中ニ設ケラレテ、街ノ科學者

勤員スル、斯ウ云ツタヤウナ想ヒ着

キカラノ御計畫ヲ發表サレテ居リマス、

斯ウ云フコトニ對スル考ヘ方ニハ我々

考案課ニ關スル其ノ後ノ整備、引ツ緑

滿腹ノ贊意ヲ表スルモノデアリマス、

云ツタヤウナ面ノ現況ナリ、御所信ガ

伺ツテ見タイモウツハ、是ハ大變空物のノコト

ヲ御質問申上ゲテ失禮デアリマスガ、

特ニ權威アル技術院總裁ノ電波探知機

ト云フ、多量生産ノ事柄ニ努力致シマ

シテ、是ハ軍官民學者、技術者、製造家ノ熱心ナル協力ニ依リマシテ、著々等ニ關シマスルコトハ勿論論外デアリマセウガ、差支ヘナイ範圍ニ於キマシテ、國民ニ示スヤウナ御意見ガ承ハレマスナラバ幸ヒト存ジマス、此ノ二點ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス。

○八木政府委員 技術院ニ創意課ト云

フモノガザイマス、元來技術院ハ特

許局ヲ包容シテ居ル役所デアリマス、

發明關係ノ官廳トシテハ日本唯一ノモ

ノデゴザイマスカラ、元々創意ヲ取扱

明家、街ノ發明家ノ創意工夫ヲ受付ケ

テ居リマス、其ノ件數ハ創設以來一萬

二千件位ニ達シテ居リマス、毎月約一

千件ノ申出ガゴザイマス、唯專門家ト

云フ立場カラ之ヲ檢討致シマスト、有

效ナモノノ數ハ甚ダ少いト感ゼラレマ

ス、ソゴデ他方專門家ニ向ツテ創意ノ

申出ヲ募シテ居リマス、各種ノ學會、

協會等ノ方面ニ募シテ居リマス、尙ホ

今後一流ノ科學者、技術者ノ創意ヲ更

ニ出シテ貰フト云フ積リテ、之ヲ督促

スル計畫ヲ今立案中デアリマス、所ガ

サウ云フ専門家の創意ハ、是亦内容ハ

直接軍、或ハ軍需省ノ其他ノ方面ニ通

ト思ツテ申上ゲタノデアリマス、人間ノ

頭ニ依ツテスル仕事ト云フモノハ急速

告サレテ居リマセヌ、唯特許出願ノ注

目スベキモノノダケハ注目すべき特許ト

シテ頻々印刷物ヲ出シテ居リマスガ、

戰爭關係ノモノニハ、只今ノ所一般ニ

ト思ヒマスカ、其ノ點ヲ一つ御聽キシタイ

ト思ヒマス。

○八木政府委員 私ハ衆議院ノ方々ガ

科學技術ノ専門家デアルトハ思ツテ居

リマセヌカラ、御分りニテリ易イヤウニ

ト思ツテ申上ゲタノデアリマス、人間ノ

頭ニ依ツテスル仕事ト云フモノハ急速

ニハ變ラナイ、ヨク頭ノ切替ト云フコ

ト思ハレル方ガアルヤウデゴザイマス、

私多年教育ニ從事シテ居リマシテ、例

ヘバ一人ノ若者ガ多少左翼のナ頭ニナ

リ掛ツテ居ル、之ヲ元ニ戻スニハ中々

年、長キハ四、五年ヲ要スルモノデアリ

マス、頭ノ切替ト云フコトハ言フハ易

シテ行フハ難ノデアリマス、ソコ

ト云フ手續ニ相當時間ヲ要スル、其ノ

例トシテ、最近皆サン方ノ問題ト致

シテ、是ハ軍官民學者、技術者、製造

家ノ熱心ナル協力ニ依リマシテ、著々

等ニ關シマスルコトハ勿論論外デアリ

マセウガ、差支ヘナイ範圍ニ於キマシテ、

國民ニ示スヤウナ御意見ガ承ハレマス

ナラバ幸ヒト存ジマス、此ノ二點ヲ御願

ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス。

○高岡委員 論事進行ニ付テ一言發言

ヲ御許シ願ヒマス——ソレハ只今林委

員ト技術院總裁ノ質疑應答ノ間ニ、科

學陣ノ強化ノ過程ニ於テ、第一次、第二

次上云ツタヤウナ工合ニ、中々思フヤウ

ニ急速ニ強化ガ出來ナイト云フ其ノ例

トシテ、國內體制ノ問題ヲ御採り上げ

ニナツタノハ、ドウ云フ意味ノコトナ

ノデスカ、其ノ點ヲ一つ御聽キシタイ

ト思ヒマス。

○八木政府委員 代議士バカリデハナ

ク、誰デモデアリマス、詰リ頭、人間ノ

肉體デナク、精神ノ問題バ、ソレハ、

ヲ取ツテ彼此レ言フノデアリマセヌ

ケレトモ、然ラバ我々代議士ハ頭ノ切

替ガ中々容易デナイ、斯ワ云フ意味ナ

ノデゴザイマセウカ

テ置キマス。

○高岡委員 頭ノ切替ト云フ言葉ガ今

出タノデアリマスガ、敢テ私ハ言葉尻

ト云フモノガ非常ニ難カシイ材料ノ集

マリデアル、其ノ素材ノ品質ガ良クナ

ラズニ、寧ロ惡クナツテ行クト云フコ

トニアルノデアリマス、問題ハ主トシ

テ生産ノ方ニアルト云フコトヲ申上げ

テ置キマス。

○高岡委員 議事進行ニ付テ一言發言

ヲ御許シ願ヒマス——ソレハ只今林委

員ト技術院總裁ノ質疑應答ノ間ニ、科

學陣ノ強化ノ過程ニ於テ、第一次、第二

次上云ツタヤウナ工合ニ、中々思フヤウ

ニ急速ニ強化ガ出來ナイト云フ其ノ例

トシテ、國內體制ノ問題ヲ御採り上げ

ニナツタノハ、ドウ云フ意味ノコトナ

ノデスカ、其ノ點ヲ一つ御聽キシタイ

ト思ヒマス。

○八木政府委員 私益其ノ解釋ニ苦シ

ンデ参ルノデアリマスガ、然ラバ我々代

議士ガ役員會乃至ハ其ノ他ニ於テ議論

ガ纏マラナイト云フコトハ甚ダ遼

シテ、頭ノ切替ハ全然違ヒマス、技

術院總裁ガ今例トシテ御引キニナツタ

カウト云フ所ニ問題ガアルノデアリマ

コトデハアリマセヌ、是ハ敢テ此ノ席デ

申上ゲルマデモナク、我々ガ天下ニ發

テ數日間議論ヲシテ居リマスト云フノ

モ、決シテ頭ノ切替トカドウトカ云フ

コトデモデアリマセヌ、是ハ敢テ此ノ席デ

申上ゲルマデモナク、我々ガ天下ニ發

テ數日間議論ヲシテ居リマスト云フノ

モ、モウ一度技術院總裁ノ御所信ヲ御

伺ヒ致シマス。

○高岡委員 私益其ノ解釋ニ苦シ

ンデ参ルノデアリマスガ、然ラバ我々代

議士ガ役員會乃至ハ其ノ他ニ於テ議論

ガ纏マラナイト云フコトハ甚ダ遼

シテ、頭ノ切替ハ全然違ヒマス、技

術院總裁ガ今例トシテ御引キニナツタ

カウト云フ所ニ問題ガアルノデアリマ

コトデモデゴザイマスカラ、單純ニ物質

スガ、御話ヲ承ツテ洵ニ私モ不思議ニ

スガ、御話

ウ 一ツ根本的ニ私考へ違ヒデアルノカ
モ知レマセヌカラ参考ニ申シマスガ、
多數決ト云フコトガ世間デ行ハレマス、
少數デアレバ少數デアル故ヲ以テソレ
ハ考慮三問ハレナイ、其ノ少數ト云フ
ノガ零ニナルコトハ望マシイカモ知レ
マセヌガ、サウ云フ風ニ行クモノデハ
ナイノダト云フ風ニ考ヘト居リマス、
ソレハ頭ノ切替ト云フ言葉ガ悪ケレバ
何トカ他ノ言葉ニ變ヘテモ宜シトイ思
ツテ居リマス、唯私ガ林委員ニ申上ゲ
タコトヲ御取リナルノニ、林委員ノ
ソレヲ聞カレテノ御感想ト、只今アナ
タノ御感想トガ相當違ノノデハナカラ
ウカト感ジマシテ、寧ロ意外ナ感ヲ持
ツテ居リマス。

○古田義長 別ニ悪意ガアツテ言ハ
レタノデハナイデセウカラ一ツ御頭解
願ヒマス——ソレデハ山崎君

○山崎(常) 委員 私方御尋ネシヨウト
思ヒマシタ案件ハ人ノ問題デゴザイマ
スノデ、厚生省デアル、斯ウ云フ合
ニ考ヘテ居リマシタ所ガ、ソレハ厚生省
ニモ關係ガアルガ、内務省ニ主ナル關
係ガアル、斯ウ云フコトニナツテ來マ
シタ、ソレデ委員長ニ御願ヒシテ置キ
タイト思ヒマスノハ、一應厚生省ガオ
イデ下サイマスノデ厚生省ニ御尋ネシ
マスガ、尙又内務省ノ關係者ニオイデ
ヲ願フト云フコトノ御提議ヲ申上ゲマ
ス

○古田委員長 今連絡ヲ取ツテ探シテ
居リマス

○山崎(常) 委員 御尋ネ致シマス問題
ハ、考ヘ方ニ依リマシテハ現在ノ苛烈
ナ戦争ニ今日ビツタリ來ナイモノガア
ル、併シ又考ヘ方ニ依リマスレバ我々
ノ子孫ニ及ボスベキ思想上ノ大キナ問
題デアル、斯様ニ考ヘマスノデ、御答

轄下サル當局モ一ツ是
ノ上デ御答辯ガ願ヒタマス
問題ハ老人ヲ今厚生省ニ
アルカ、此處ガ御尋ホトモ
見テ居ラレルカ、一寸
ナ問題デスケレドモ、此
點ヲ御聽キシタイ、厚生
國ノ老人ト云フモノヲ
聽キシタインデアリマフ
○中務川政府委員 私共
ガ適當デアルカドウカハス
長幼序アリトハ我が國ニ
テ特質トヘル所デハナイ
隨テ左様ナ考ヘヲ以テ御
トニ當ツテ居リマス

○山崎(常)委員 御答辯
タガ、サウデナケレバ、
マス、所ガ現實ハソレ
ニナツテ居リハセンカ、
厚生省當局モ甚デ御見解
ヒマス、ソレカラ各家族
モ疎開地ニ於キマシテ、
各方面ニ露呈シテ居ル、
考へマス、私ハコ、デモ
實例ヲ示シテ御話ラシ
マスガ、疎開地ニ行キ
會ノ年寄ガ、或ハ疎開
ガ田舎ヘ行キマシテ、
ヒニナツテ、疎開シテ、
ノ者トガセナノ黙禁
ト云フヤウナコトガ各
レマスシ、又見聞キ致
ラ路上ニ於テモ或ハ混雜
或ハ汽車ノ中デモ御見
ト思ヒマスガ、若イ者
諸君ガ、現在年寄ヲド
ツテ居ルカ、最近ニ於

八重劍ニ御考ヘ
ソントスル所ノ
私ハ先ヅ其ノ
至省ハ現在我ガ
トウ云フ工合ニ
ヤヤコシイヤウ
或ハ内務省ハド
カレル御考ヘデ
セントスル所ノ
私ハ先ヅ其ノ
至省ハ現在我ガ
トウ云フ工合ニ
ヤヤコシイヤウ
此ノ點ガ一應御
カト存ジマス、
御話ノヤウナコ
カラ申上ゲルノ、
アリマセヌガ、
ノ最そ美風トシ
カト存ジマス、
ト云フコトヲ、
空ケニナルト思
テ相反シタ現實
ト云フコトヲ、
其ノ現實ガ
ノデハナイカト
卒近ノ二、三リ
テ見タイト思ヒ
マスナラバ、都
シテ行ツタ病人
マルデ厄介者扱
シマス、ソレカ
來ル都會人ト村
態ニナツテ居ル
方商デ見受ケラ
ワ云フ工合ニ扱
キマシテハチツ

トモ年寄ヲ勞ハリ、年長者ヲ敬フト云
フヤウナ人情ハ地ヲ拂ヒマシテ、年寄
ノクセニト云フヤウナ態度デ年寄ニ
接シテ居ル、勿論汽車ノ中デモ電車
ノ中デモ、今マデ我々ハ本當ニ何度モ
現實ヲ見テ胸ヲ打タレタヤウナ場合ガ
アリマス、子供、若イ者ガ年寄ダト云
ツテ席ヲ譲ツタトカ何トカ云フコトヲ
見マシタガ、最近ハソレガテンデ見ラ
ト云フヤウナ氣持ガ地ヲ拂ツテシマツ
タト云フヤウナ狀態デアル或ハ電車
モ席ガ空イテ居レバ腰ヲ掛ケテ煙草ヲ
スペ／＼ヤツテ居ル、年寄ニ席ヲ譲ル
ガ年寄ヲ突キ除ケテ置イテ、其處へ過
トツテ引繩返リデモシマスレバ、ソレヲ
タマニテ若イ者ガ乘ラウト云フヤウナ
現狀ナシマス、偶ニ奇篤ナ人ガアツテ
ソレヲ起シテヤル、電車ノ中へ乗セテ
ヤルトシマスト、乗ツテ來タ者ヲ罵罵
シテ、此ノ通勤時間ニ年寄ガ間誤々々
年寄ハ段々減額セラレル、年寄ニ對
シテ少シ思ヒヤリガアリマシテ、餘アツ
ニ見マスレバ配給ノ問題デアリマス、
ニ年寄ハ段々減額セラレル、年寄ニ對
居レバ宜イノニト面罵スルト云フ狀
態、本當ニ嘆カハシイ、痛々シイ狀態
ヲ各方面デ見受ケマス、更ニ又家庭的
ニラレナイ、米ハ段々少クセラレルト
云フヤウナ狀態、家庭テモ各方面ニ一
回カ吳レマスケレドモ、年寄ハソレ程顧
存知デゴザイマセウ、年寄ハ齒ガ惡イ
カラ中々噉メナイ、ダカラ食べルノニ
時間ガ掛ル、子供ハサク／＼食ベルカ

ラ年寄ノ状態ヲ見テ、オササム、オ速サンハ配給ガ少イノニ餘計食べテ居ルト中ニ挾マツタ夫婦ノ者ハ本當ニ取扱モ、是デハ老先短イ年寄ハ一體ドウルダラウト云ノガ一般ノ實情アゴザイマス、又最近都市ニ對シテ夜間ニ何回モ空襲ガアリマス、斯ウ云フ場合ニ、サア防空壕ヘ入レ、敵ガ去ツタ、出来イ、又入レ、出テ來イ、斯ウ云フ工合デアリマスノデ、年寄ハ塞ガツテ仕方ガナイ、モウ死ンダ方ガマシタド云フヤウナ悲鳴ヲ上ゲテ居ルヤウナ状態デアル敬老ノ精神、祖先ヲ崇拜スル精神ガ段々地ヲ拂フヤウナ状態ニナル、タ年寄ニ對シマシテ、又我ガ國ノ美風ヲ考へナケレバナラヌ、是ハ幾ラ金ガ要ツテモシナケレバナラヌト思ヒマス、後々ニ良キ美風ヲ残スト云フ點カラ大之ヲ政府ハ何トカシテ食ヒ止メルコトヨリニ力ヲ入レラレナケレバイカヌ、戰争ノ今日ダカラ年寄ナド顧ミテ居ラレムト云フヤウナ態度デ政府ハ居ラレルトスレバ大キナ間違ヒデアル、私ハ此ノ問題ニ付テ政府當局ハ何カ御考ヘニツテ居ルカ、大切ナ問題デアリマスノタ、御考ヘニツテ居ナケレバナラヌトス、御考ヘニナツテ居レバ御示シ願ヒタ、御考ヘニナツテ居ナケレバ私ハナイト云フコトヲ痛切ニ考ヘテ居リマスカラ、ソレヲ御詔申上ゲタイト思ヒマスガ、其ノ前ニ厚生省當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

タコト、又道義地ヲ拂フヤウナ状態デ
アリマスル事態ヲ各所ニ見受ケマスル
コトハ、全ク惑ラ同ジウスルモノデゴ
ザイマス、厚生省ト致シマシテハ社會
事業其ノ他ニ關聯スル事柄ヲ主掌スル
省ト致シマシテ、左様ナコトノナイ
ウニ力ヲ盡シテ指導ノ任ニ當リタイト
存ジテ居リマス、尙ホ具體的老人ニ
對シテドウ云フコトシテ居ルカ、又
疎開ノ御話ガ出マシタガ、是ハ實ハ厚
生省ノ關係デアリマセヌガ、御承知ノ
ヤウニ政府ハ老人ニ對シテ出來ルダケ
緣故疎開ヲ勸獎シテ居リマス、其ノ疎
開ノ勸獎ニ當リマシテモ、集團的ニ致
スコトニ依ツテ却テ老人ノ氣持ニ副ハ
ナイヤウナコトガアツチハイカヌ、寧
ロ緣故疎開ヲサセタラ宜イデヤナイ
カ、親類縁者ト云フヤウナ知合ノ所ヘ
成ルベク行クヤウニシタラ宜イデヤナ
イカト云フヤウナ考ヘノ下ニ今ヤツテ
居ルノデアリマス

リマスガ、最近ノ我が國ノ状態トシテ、老人ヲドウ云フ工合ニ御處置ナサルト云ヒマセウカ、或ハ取扱ハレル點ニ付キマシテ、例ヘバ國民學校ノ何年生以下ノ兒童ハ隼頭疎開デ保護者ガ附いて行ツテ指導シテ居ル、所ガ年寄モ六十歳以上ノ年寄ハ、疎開セヨクト非常ニヤカマシイ、是ハ分散のニ縁故ヲ辿ツタリ或ハ其ノ他ノ方法ニ依ツテバラボラノ疎開ヲシテ居リマス、又ドウシテモ疎開ノ出來ナイ者ハ依然トシテ六十歳以上ノ老人デモ都市ニ残シテ居ル者モアリマス、是ガ又巷ニ於テ老人ガ出歩ク場合ニ——成ベク出歩クコトハ控ヘテ居リマスケレドモ、併シソレヲ養フ者ガナイ人ヤ何カラ色々アリマシテ、サウ云フ人達ガノツビキナラヌ所用デ電車ヤ汽車ニ乘ツテ居ル、或ハ道ヲ歩イテ居ル時ニ、現在年寄ガドウ云フ取扱ヲ受ケテ居ルカ、或ハ子供ガ澤山アル家ニ年寄ガアル場合、其ノ年寄ガ其ノ家庭デ子供カラドウ云フ義地ヲ相拂フト云フヤウナ狀態ニナリテアル、是デ私ハ日本ノ美風デアル所ノ祖先ヲ尊ビ、長上ヲ尊ブト云フ良イコトガ段々崩レテ來テ居ル、御互ヒ道戦ヒツ、モ年寄ヲ大切ニスル、長上ヲ大切ニスルト云フ美風ヲ再ビ取返サナ争ハ十年、二十年、百年デ終ルト云フモノデヤアリマセヌノデ、セメテ此ノ期間譯デアリマスガ、内務省ハ之ニ對シテ何カ具體策ヲ御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ伺ヒタ伊豆ヒマス、私モ考ヘテ居リマスノデ、後程私ノ考ヘヲ御譯デアリマスガ、内務省ハ之ニ對シテ話致シマスガ、其ノ前ニ一應内務省ト

シテノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
リ、洵ニ老人ニ對シテ何ダカ冷ヤカナ
ヤウナ感ジガ私モ致シテ居リマス、近
衛新體制發足當時ニ年取ツタ者ハ用事
ガナイ、若イ者デ統領ヲ片付ケル、年寄ハ
引込ソデシマヘト云フコトヲ公然ト新
聞ナドデ書バイタ、實ニ憤慨ニ堪ヘナイ、
小議内閣出現以來大和一致ノ標語ノ下
ニ、非常ニ熱ヤカナ氣持ガ出テ參ツタ、
ニナルノダト思ツテ非常ニ冷ヤカナ感
サウシテ疏開ナドニ付テモ御承知ノヤ
ジガ致シマシタ、併シ御承知ノヤウニ
ウニ老人ノ疏開ニ内務省ガ特ニ意ヲ用
ヒテ居ル、今度ノ増俸ト言ヒマスクア勤
續手當ノ問題デモ、ヤハリ長イ間勤メ
夕者ニ餘計出スト云フヤウナコトデ、非
常ニ敬老思想が以前ニ比シマシテ向上
シツ、アルコトハ山崎サンノ御考ヘト
同一ノ考ヘヲ持ツテ居リマシタ、私ハ、
昨今ノ状態ヲ見テ稍喜ンデ居ルヤウ
ナ譯デゴザイマス、内務省ニ於テデウ
云フ施設ヲシテ居ルカ、是ハ實ハ殘念
ナガラ事務的ナ詳細ナコトハ存ジマセ
ヌノデスガ、一ツ今ノ山崎サンノ御意
見ヲ承リマシテ、私共が其ノ御意見
ノ中、是ハ洵ニ直チニ實現シナケレバ
ナラムト云フコトガゴザイマシタナラ
バ、部内ニ於テ全力ヲ擧ゲテ其ノ具現
ヲ推進シタイト考ヘテ居リマス
○山崎(常)委員 私ノ考ヘテ居リマス
ノハ素人考ヘデゴザイマスノデ、餘り難
カシイ偉大ナ計畫性ヲ加味シタ考ヘデ
モゴザイマセヌ、併シ簡單ナ考ヘニ比
較的良いコトガゴザイマスノデ、一應
御参考マデニ申上ゲテ置キタイト思ヒ
マス、ソレハ先程申シマシタ通り、緣故
疎開ニハ相當馬力ヲ掛ケテヤツテ居リ
マス、私共モ實ハ年寄ガゴザイマス、小
サナ子供ガゴザイマセヌノデ、年寄ト喧
嘩スル程度ノコトハゴザイマセヌガ、

ニシマシテモ實際ニ年寄ガザイマス、食物ノデ、餘計ニ食べサシテヤリタイト思ヒマシテ、大キナ麗デハ言ハレマセヌケレドモ、何カ闇ノモノデモ仕入テ來テ、少シモ餘計ニ食べササウト云フコトデヤツテ居リマス、中々今ノ配給デハ足リハシマセヌ、結局子供ノ澤山アル所デハ年寄ト子供トガ喧嘩スルオ母サンガ中ニ入ソテ困ルト云フ悲劇ハ、各方面デ御聞キニナツテ居ラレルト思ヒマス、サウ云フコトデゴザイマスガ、最近父女間ノ一機一機ノ空襲デ、ニア入レ、サア出ヨ、ソレ入レ、ソレ出ヨ、モウ是デ厭ヤガル、コンナコトデハ死ンダ方ガマシダト云フ、實際サウナシデス、我々モ出タリ入ソタリデ暖マリハシマセヌ、又田舎ヘ親戚ヲ頼ツテ、故疊聞ラシマス、身體ノ好イ時ハ死ンダシノゴザイマスケレドモ、ドウシ直グ歸サレル、直グニ連レテ歸ツテ呑レテモ子供ト同ジコトデス、六十歳以上ニナリマシテ尾籠デモヤリマシタラ、宜シノゴザイマスケレドモ、ドウシト云フコトニナル、ソコハ冷ヤカナモノデス、人間デモ厄介者ヲ抜フト云フヤウナ形ニナリマスノデ、是ガピッタリ行ツテ居ルカト言ヘバ、行ツテ居ルナイ、私ガ思ヒマスノニ、年寄ト雖モ今日マデ國ヲ守ツテ來テ、死ヌマデ又御奉公シタイト云フ熱意ハアリマスノデ、國民學校ノ兒童が集團的ニ、指導者ガ附イテ集團疊聞シテ居ルヤウニ、建物ハ何トカ考ヘラマス、山間邊リニ掘立小屋デモ建テテ、ソコニ年寄ヲ親切ニ指導スル人ヲ附ケマシテ、其處デ開墾デモ手傳ハス、謹デモ植エル、菜葉デモ植エルドスレバ、排泄物ハ直チニ肥料ニナル、サウスレバ空襲デモ起キナクテモ宜イ、或ハ冬デアツタラ園壇裏ヲ切ツテ年寄同志ガ話ラスルト云フヤウナ、一つノ樂天地ヲ作ツテヤル、斯ウ云フコトガセメテ老先短

斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、ソレ以上
マダ深イコトハ考ヘテ居リマセヌガ、
政府ガ其ノ計畫ヲ立テテ、御役所デヤ
ルノデナカシテ、民間ニヤラスト云フ
ヤウナ方法ヲ立テラレコトガ、最モ
早ク出来ル上策デハナイカ、サウスレ
バ家庭ニ助カリマス、年寄ニ助カル
一番早イ方法デ、效果的デハナイカ、
サウ云フヤウナ方法ヲ一ツ考ヘテ戴イ
テ、各地方ヘサウ云フ通達ヲシテ戴ク
ト云フヤウナ方法ヲ執ラレルコトガ、
斯様ニ考ヘマスノデ、是ハ御参考ニ供
シテ戴キタイ、斯様ニ考ヘマス。